

審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

	課所名	健康推進課
会 議 名	令和 4 年度第 2 回 諏訪市健康づくり推進協議会	
開催日時	令和 5 年 2 月 9 日（火） 午後 1 時 30 分 ～ 午後 2 時 30 分	
開催場所	諏訪市保健センター 健康相談室	
出席者	<p>（出席者）</p> <p>協議会委員：</p> <p>宮坂圭一会長、 松本明久氏(坂本泰啓委員代理)、 小島洋二委員、 折井こずえ委員、 笠原健一氏(根橋克明委員代理)、 井上幸彦委員、 清水弘枝委員、 岩波正枝委員、 上野あけみ委員、 宮下和昭委員、 平林一郎委員、 小島光治委員</p> <p>金子ゆかり市長、 守屋和則健康福祉部長、 濱秀憲健康推進課長、 矢澤祐美健康予防係長、 小口直子健康支援係長 岩波美波保健師</p> <p>（欠席者）</p> <p>協議会委員：土橋奈津副会長、伊藤幸彦委員、進藤久美委員</p>	
資料	別添	
協議議題（内容）及び会議結果（要旨）		
<p>1. 開会（健康推進課長）</p> <p>委嘱状交付</p> <p>2. 市長あいさつ（市長）</p> <p>委員の皆様には、市民の健康のために忌憚のない、またそれぞれの知見を存分に発言いただき、ご協力賜りますようお願いいたします。健康長寿というのが、この超少子高齢社会において大事なキーワードだと私は思っております。施策の推進においても健康を取り巻く医療、介護、福祉を大事な取組として位置付けております。本日は、主に受動喫煙のない思いやりと健康のまちづくり条例に基づく重点区域と来年度の主要事業について審議を賜りたい。コロナ感染症も丸 3 年かかり、諏訪市としても 26 回緊急対策を上程し、110 事業約 100 億円を投入して事業者、市民の皆様を支えてきました。ここでレベルも下がり、2 類から 5 類へ舵が切られようとしているが健康という側面からもコロナは注視していかなければいけない対象の病気だろうと思っております。諏訪赤十字病院が 100 周年を迎え、この 6 市町村 2 次医療圏の中核的な病院として、高度医療から地域連携まで支えていただいています。医師会、歯科医師会、薬剤師会の先生方、関係する皆様と連携して進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>3. 会長あいさつ（会長）</p> <p>委員の皆様には、お忙しい中お集りいただきありがとうございます。新しく役員になった方も含めて、本日はよろしく願いします。昨年健康づくり推進協議会では受動喫煙のない思いやりと健康のまちづくり条例について協議してきました。本日は重点区域案と健康推進課実施予定</p>		

事業について、より良い話し合いが行われることを期待しております。本日もよろしくお願いいたします。

4. 議事（進行：会長）

(1) 諏訪市受動喫煙のない思いやりと健康のまちづくり条例に基づく重点区域（案）について

■事務局より説明

- ・経過説明について
- ・重点区域案について

■質疑応答・意見

【委員】重点区域を選んだ理由というのは何か。たばこの吸い殻が多いなどあるのか。

【事務局】観光客が多く訪れ、諏訪市のランドマーク的な位置にある諏訪湖畔の一部を重点区域に定めることで、皆さんに受動喫煙防止の意識を向けてもらうという意味も含め指定した。ここだけが特別たばこの吸い殻が多いというわけではないが、駅からも歩いて行ける距離で、まずは一か所指定しようということで決めた。

条例の名前にあるとおり、思いやりと健康をメッセージとしたまちづくりの条例となっており、ランドマークとなる場所に条例の象徴となる地域を設けたいと考えている。この重点区域は細長い地域になっており、受動喫煙を避けることは大前提だが、喫煙をする方については縦に移動すると重点区域を外れることができる。喫煙者にも非喫煙者にも配慮する中でこの区域となった。

【委員】重点区域について、もう少し厳しくしたほうがよいのではないか。看板や喫煙の場所について考えはあるのか。

【事務局】議会を中心に議論を進め、広く多く意見を聞いてきた中で、喫煙者、非喫煙者に十分配慮し、諏訪市としてふさわしい場所を一つ選定し、まずは最初の一步ということで決めた。市長のあいさつのとおり、思いやりのある受動喫煙を防止する取組が本旨であるので、今後更に発展させていきたいと思っている。看板は設置する方向で管理者と調整を進めており、広報等で周知していきたいと思っている。

【委員】重点区域について半年、一年で見直しをする考えはあるのか。

【事務局】今回、設定させていただいた状況を見て、様子を見ながら次の段階を考えていきたいと考えている。

【市長】たばこの喫煙所を設置して欲しいという声が多くあったが、アンケートや事前の懇談会では賛意を持っている方も多くおり、色々な意見があると感じている。たばこが習慣になっている人たちが急にやめることが難しいため、禁煙外来に対する補助金を予算計上している。やはり相互理解、思いやりと健康づくりという柔らかい形でまずはスタートしたいと思っている。世界標準も、オリンピック開催都市、世界的観光地のほとんどは禁煙指定である。たばこの箱にも害があるとはっきり書いてある。私としてはこの超少子高齢化社会は介護も医療もお金がかかり、一方で人材不足である。保健師、看護師もなかなか確保できない中で、やはり健康に過ごすことが一番の社会貢献になり、本人のためでもあるという思いからスタートしている。煙を嫌がる思いの皆さんも市民の中にいることが段々分かって折り合いがついていけば嬉しい。たばこを吸う人は悪いということではないので、努力していただき、ご協力いただき、健康を取り戻していくような方向で環境を整えていきたいと思っている。

【事務局】重点区域の見直しについては、今後も環境を注視していく必要があると思っている。

健康づくり推進協議会においては様々な議題があり、その中でタイミングを見て、ぜひご意見を伺わせていただきたいと思いますと思っているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

(2) 令和5年度健康推進課実施予定事業について

■ 事務局より説明

- ・ 諏訪市自殺対策計画策定について
- ・ 9価HPVワクチンの定期接種化について
- ・ (国) 出産・子育て応援交付金事業について
- ・ データヘルス計画策定(諏訪市国民健康保険)について

■ 質疑応答・意見

【委員】HPVワクチン接種、出産・子育て応援交付金について、この事業をやることでどれくらいの子宮がん患者を減らしたり、出生率を増やしたりすることができるか目標値はあるのか。

【事務局】市として、目標値は現時点で設定していない。国の政策として行うが、国のほうでも現時点では目標値は示されていない。まずはこの事業を進めていきたいと考えている。

【委員】市の財源は投入されるのか。

【事務局】交付税措置はされるが、基本的に定期の予防接種の一つであるので市の財源も入る。

【委員】せっかくワクチン接種をし、市の財源を使うので、発症をいづらかでも減らすことができるのかどうか、出産・子育て応援交付金も国の財源を使うのはいいが、現在の出生率よりも多少なりとも増やしていくことに寄与させないといけないのではないのか。

【委員】HPVワクチンについては、欧米ではほとんどの人が接種していて、発症率は低くなっている。日本では副反応が原因で一時(接種勧奨を)止めていたが、それにより、やはり発症は多くなっているという印象がある。子宮がんは高齢者になるというわけでもなく、若い人からなっていくので、産婦人科の病棟で亡くなる方も多い。そのために国は接種を勧めていると思うので、ぜひ市にお願いしたい。出産・子育て応援交付金事業について、現場の意見としては産後ケア宿泊型を当院でもやっているが、子どもがいっぱいいて、子育ての支援が必要な人には産後ケアを受けてもらえない。市として本当に子育てを支援していくのであれば、お兄ちゃんお姉ちゃんぐるみで支援できるような体制を是非作ってほしい。産後ケアで訪問に行くのは市では1回だけか。

【事務局】ケースバイケースだが、基本的には1回が多くなっている。

【委員】虐待などが疑われる家庭もあり、助産師もどのような生活をしているか見たいという意見もある。そういうところにお金が出るともっと支援していけるのではないかと思う。今後の子どもたちを守るために考えていかないといけないことだと思うのでぜひご検討をお願いしたい。

【委員】訪問ヘルパーで行くケースも増えているが、ますます多くなっていくのではないかと考えている。今後も子育て応援の面でやはり大事かなと思う。

【事務局】出産・子育て応援交付金については、補助金という形が強いが、これに加えて伴走型支援も行っていく。核家族化が進んで、保護者の方の孤立感、不安感をいかに寄り添いながらフォローしていくかが主眼になっているので、それも踏まえて検討していきたいと考えている。

【会長】子育てに関しては、交付金だけでなく、より良い十分な施策を考えていただきたい。

【委員】民生児童委員の関係で健康推進課主催のゲートキーパー研修会に出て興味を持ってきているが、自殺の関係で、諏訪市でどれくらいの方が自殺で亡くなられているのか。

【事務局】最新の数値で行くと、平成31年から令和3年の間で男性7名、女性9名、計16名。1年で5人未満は公開しないことになっているので、実数で出せない場合も多い。10万人に対して何人かという換算した数値で出すことが多いが、策定する段階でお知らせできるようなら出したい。基本的にはお話しする際には、主に自殺死亡率のほうでお話しさせていただくようになるかと思う。

【委員】数字について慎重に扱わなければならないということはよく理解したが、民生児童委員の場合には、より現実感をもって話し、身近に感じながら活動をしていったほうが良いのではと思う。

5. 閉会（健康福祉部長）

（午後2:30 終了）